



株式会社 MONET、バイナリ差分アップデート・ソフトウェア ポケットソフト社製「RTPatch for Windows バージョン10」を発表

～ 64ビットのサポート拡張 ～

ソリューション・プロバイダーの(株) MONET(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:前野泰章)は、本日、米国ポケットソフト社(本社:米国ヒューストン 社長:ウィリアム・ワイズ氏)のデータ・アップデート・ソフトウェア「RTPatch for Windows バージョン10」を10月23日より販売開始することを発表しました。株式会社 MONET は、ポケットソフト社の日本総代理店として RTPatch シリーズを販売しております。

バージョン10の大きな変更点は、Windows x64 Edition (AMD64 と EM64T) へのサポート拡張です。マシンの性能向上と共にソフトウェアの64ビット対応製品が増えてきておりますが、これらのアップデートに適用するために、RTPatchの64ビット対応への要望が強くありました。この機能拡張により、ネイティブ64ビットで作成したパッチファイルは、Win32環境のパッチ適用(Apply)と完全な互換性があります。

RTPatch はデータやプログラムをアップデートする際に、旧バージョンからの変更箇所をバイナリ・レベルで抽出して差分パッチを作成します。バージョンアップを差分パッチで行うことで、プロセスを簡略化すると同時に、最新版の配信コストを激減させます。この際、差分パッチのサイズはオリジナルデータの最大99.9%までの削減を実現しております。従って TCO 削減に大きく貢献いたします。

デバイスの性能向上とともに開発の比重は増大しています。一方で、開発の中心はハードウェアからソフトウェアに移り変わってきており、モデルチェンジや新製品がリリースされるごとに搭載されるソフトウェアの容量が増大してきています。より高性能で低価格の製品を短期間でリリースすることは開発の命題です。そのためにはソフトウェアの開発労力を軽減する必要があります。

RTPatch は、ソフトウェアやデータファイルの更新・追加の容易にすることで新サービスへの対応や新機能の取得を可能にいたします。

新製品「RTPatch for Windows Version 10」の主な特徴

- ◆ ネイティブ 64 ビットサポートの強化
- ◆ 新しいパッチ作成 (build) の「再帰」コマンド
- ◆ 履歴パッチ (ヒストリーパッチ) の強化
- ◆ パッチ作成 (Build) ウィザードの拡張
- ◆ パッチ作成 (Build) ウィザードの新しいコマンド
- ◆ Windows Installer のログ出力の強化
- ◆ より小さいパッチファイルを作成するように、デフォルトのアルゴリズムを強化

標準価格： 120万円/開発者ライセンス

動作環境： パッチ作成 (Build) のO/S
◆ Windows NT、XP、2000/2003
パッチ適用 (Apply) のO/S
◆ Windows 9x/Me/NT/2000/2003/XP

注意事項

- この製品は、CD-ROM で提供されます。

MONET 社について

(株) MONET は、セキュリティおよびネットワークのソリューション・プロバイダーとして 2002 年 12 月に設立した企業です。海外の優秀なベンダーとのパートナーシップを中心に、セキュリティ関連のソフトウェアの販売、コンサルティング事業を推進しています。その他に、大容量データ差分抽出ソフトウェアの dfc-gorilla、内部情報漏洩対策ソフトウェアである OmniSecure 社 VPDisk Pro の代理店をしています。

お問合せ先

株式会社 MONET

営業部

東京都千代田区三崎町 3-6-15 東和水道橋ビル 3F 〒101-0061

TEL:03-3239-2430 FAX:03-3556-3248

Email : info@monetz.com

HP : <http://www.monetz.com/>

* 本文中の会社名および製品名は、各社の登録商標または、商標です。